

(無断で転写することを禁じます)

解答はすべて解答用紙に記入し提出すること

2019 年度

第 9 回

産業廃棄物適正管理能力検定試験

問題用紙【サンプル版】

(13 時 30 分説明開始)

注意事項

1. 解答用紙への記入は必ずHBまたはBの黒鉛筆かシャープペンシルで枠の中を正確に塗りつぶすこと。
2. 解答を修正する場合は、消しゴムであとが残らないようにきれいに消すこと。
3. マークは各問1箇所のみとすること。(二つ以上の箇所にマークがあった場合は無効する)
4. 解答欄への記入は分かりやすい字で記入すること。(文字の判別ができない場合、不正解となる可能性があります)
5. 本試験は特段の記載が無い限り、地方自治法に基づいて制定された条例による規制は除き、廃棄物処理法及びそれに関する省庁の通知に基づいて回答すること。
6. 本試験では「産業廃棄物管理票」を「マニフェスト」と表記し、紙マニフェストは、A票・B1票・B2票・C1票・C2票・D票・E票からなる7枚綴りのものであるものとする。
7. 試験の開始・終了は試験監督の指示に従うこと。
8. 問題用紙は試験終了後に回収します。問題用紙への書き込みは構いませんが持ち帰らないようお願いいたします。

受験番号	氏名
------	----

(無記名・未提出の場合、不合格となる場合があります)

第1問（各1点×5問）

以下は、産業廃棄物の種類に関する環境コンサルタント（以下、コンサル）と企業の担当者（以下、担当者）との会話である。ア～オの（ ）の部分に当てはまる最も適切な語句を下記の語群から1つ選び、その番号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

担当者： 廃棄物処理法では、産業廃棄物の種類として20種類を定めていますが、どのような場面でこの種類に関する知識が必要となりますか？

コンサル： さまざまな場面で必要となります。まず、処理業許可証のチェックの場面です。処理業者の許可の範囲に委託しようとする産業廃棄物の種類が含まれているか、許可証の（ア）欄で確認する必要があります。

次に、処理委託契約を締結し、契約書を作成する場面です。仮に委託しようとする産業廃棄物の種類を契約書に記載しなかった場合、その者には罰則が科されるでしょうか？

担当者： たしか…科されるはずです。違反者に対する罰則は、（イ）とされています。

コンサル： そうですね。この場合、行為者だけでなく法人も刑罰の対象となります。また、処理委託契約書には、委託する産業廃棄物に（ウ）等が含まれる場合は、その旨を記載しなければなりません。

マニフェストの交付の場面でも、産業廃棄物の種類に関する知識が必要となります。例えば、1台のトラックに分別された木くずと廃プラスチック類を積み込み、1か所の運搬先に運搬する場合には、紙マニフェストは何部必要ですか？

担当者： （エ）です。

コンサル： そのとおりです。さらに、処分業の許可証のチェック場面でも必要です。廃プラスチック類について、破碎処理施設では、一日の処理能力が（オ）を超えていれば処分業の許可だけでなく処理施設の設置の許可が必要です。

担当者： 廃棄物管理のあらゆる場面で種類の知識が必要になるんですね。

【語群】

1. 事業の範囲
2. 許可番号
3. 処理能力
4. 荷姿
5. 6か月以下の懲役または50万円以下の罰金
6. 1年以下の懲役または100万円以下の罰金
7. 3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金またはその併科
8. 管理型産業廃棄物
9. 水銀使用製品産業廃棄物
10. 建設廃棄物
11. 1部
12. 2部
13. 2トン
14. 3トン
15. 5トン
16. 10トン

第2問（各1点×14問）

次のア～セの文章のうち、内容が正しいものには「○」を、誤っているものには「×」
を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア. 平成29年に公布された法改正によって、2020年（令和2年）度から、特別管理産業廃棄物の多量排出事業者について、特別管理産業廃棄物を含めたすべての産業廃棄物に関して、電子マニフェストの使用が義務化されることになった。
- イ. 紙マニフェストの運用において、収集運搬業者はB2票を収集運搬終了の報告として収集運搬終了日から10日以内に排出事業者へ送付し、処分業者はD票を処分終了の報告として処分終了日から10日以内に排出事業者へ送付する。
- ウ. 産業廃棄物が産業廃棄物処理業者によって不適正処理された場合、委託基準等に違反がなければ排出事業者措置命令が出されることはない。
- エ. 排出事業者が、工場内で使用していた有害使用済機器（いわゆる雑品スクラップ）を事業場内に保管する場合、有害使用済機器の保管の届出をする必要はない。
- オ.
・
・
・

第3問（各2点×2問）

次のア～イの問いに答えなさい。

- ア. 以下の a～d は、事業活動に伴って排出された廃棄物である。このうち、産業廃棄物に該当するものはいくつあるか。該当するものの数を解答用紙の所定欄にマークしなさい。
- a. 食品製造工場で原材料の搬入時に使用されていた木箱（パレットへの貨物の積付けのために使用したものを除く）
 - b. 運搬時の緩衝材として使用されていた発泡スチロールが不要となったもの
 - c. 飲食店で使用したフライヤーに残った使用済み油
 - d. 建設業者が事務所での会議で使用した紙資料
- イ. 以下の表は、ある産業廃棄物収集運搬業者の許可内容を示している。以下の a～d のうち、この許可内容を有する収集運搬業者に委託が可能なものはいくつあるか。可能なものの数を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

自治体	産業廃棄物の種類		
	木くず	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず
X 県	○	○	○
Y 県	○	○	—
y 市 (Y 県内)	○*	○*	—
Z 県	○	—	○

「○」は自治体において許可を有する産業廃棄物の種類を示す。

※許可に積替保管を含む。

- a. 廃プラスチック類を、X 県から Y 県へ運搬
- b. ガラス陶磁器くずを、X 県から Y 県を通過し Z 県に運搬
- c. 木くずを、X 県から Y 県 y 市で積替保管後に Z 県まで運搬
- d. 木くずと廃プラスチック類の混合物を、X 県から Y 県 y 市に運搬

第4問（各1点×10問）

次のア～コの文章の（ ）の部分に当てはまる用語について最も適当なものを1～4から選び、その番号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア. 廃棄物処理法において「一般廃棄物」とは、(a) 廃棄物をいう。

1. (a) 特別管理一般廃棄物以外の
2. (a) 事業活動に伴って生じた廃棄物以外の
3. (a) 家庭から排出された
4. (a) 産業廃棄物以外の

イ. 排出事業者は、その産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合には、当該産業廃棄物の処理の状況に関する確認を行い、当該産業廃棄物について(a) から(b) が終了するまでの一連の処理の行程における処理が適正に行われるために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. (a) 収集 | (b) 最終処分 |
| 2. (a) 発生 | (b) 最終処分 |
| 3. (a) 発生 | (b) 中間処理 |
| 4. (a) 発生 | (b) 収集運搬 |

ウ. 都道府県知事又は政令市長は、不法投棄が行われた場合において、生活環境の保全上支障が生じ、又は生ずるおそれがあり、かつ、(a) 等の資力その他の事情からみて、(a) 等のみによっては、支障の除去等の措置を講ずることが困難であるとき等の場合は、(b) 等に対し支障の除去等の措置を講ずべきことを命ずることができる。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. (a) 下請事業者 | (b) 元請業者 |
| 2. (a) 発注者 | (b) 排出事業者 |
| 3. (a) 不法投棄の実行行為者 | (b) 元請業者 |
| 4. (a) 不法投棄の実行行為者 | (b) 排出事業者 |

エ.

⋮

第5問（各2点×5問）

次のア～オの問いについて解答を1～4から選び、その番号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア. 廃棄物処理法の罰則に関して誤っているものは次のうちどれか。

1. 排出事業者が、契約を締結しないで産業廃棄物処理業者に産業廃棄物を委託した場合、排出事業者のみが罰則の対象となる。
2. 産業廃棄物処理業者の従業員が、その処理業者の業務に関して不法投棄をしたときは、従業員を罰するほか、その処理業者に対して3億円以下の罰金刑を科する。
3. 廃棄物の不法投棄等を行おうとする者が、その実行に着手した段階で警察の監視に気付くなどにより実行行為の完遂に至らなかった場合は、処罰の対象とならない。
4. マニフェストに虚偽の記載をして交付した場合、虚偽記載をした者だけでなく、その者の属する法人にも罰則が適用される。

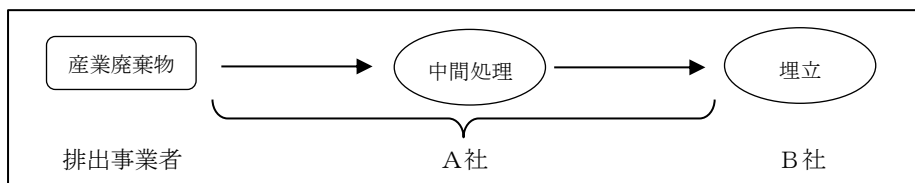
イ.
:
:
:

第6問（各2点×3問）

次の図のような産業廃棄物の処理委託を行う場合、排出事業者として各業者との間で結ぶべき産業廃棄物処理委託契約について、収集運搬委託契約のみが必要な場合は1、処分委託契約のみが必要な場合は2、収集運搬と処分の委託契約が必要な場合は3、直接契約が不要な場合は4を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

————→ は、収集運搬を示します。

ア.



イ.
:
:
:

第7問（各2点×8問）

次のア～クの問いについて解答を1～4から選び、その番号を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア. 水銀使用製品産業廃棄物の処理について最も適当なものは次のうちどれか。
1. 水銀使用製品産業廃棄物となる蛍光灯が組み込まれた液晶ディスプレイが産業廃棄物となった場合、機器全体として水銀使用製品産業廃棄物として取り扱う必要はない。
 2. 水銀使用製品産業廃棄物と、水銀を含まない同一カテゴリかつ同一性状の廃棄物が混在する場合、総体として水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うことができない。
 3. 水銀使用製品産業廃棄物の保管場所の掲示板の種類欄に水銀使用製品産業廃棄物である旨の明記が必要であるのは、医薬品や顔料等の一部の水銀使用製品に限られる。
 4. 廃水銀体温計が破損したものについて、廃棄物の種類としてガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず等に該当するので、安定型最終処分場で埋立処分を行う産業廃棄物処分業者に処分を委託することができる。
- イ. 専ら物に関する説明として最も適当なものは次のうちどれか。
1. 産業廃棄物である専ら物を、専ら物のみを扱う業者（専ら業者）に委託する場合、契約の締結は不要である。
 2. 環境省の通知では専ら物として、古紙、あきびん類、ペットボトル、古繊維を示している。
 3. 産業廃棄物である専ら物を、専ら物のみを扱う業者（専ら業者）に委託する場合、マニフェストの交付は不要である。
 4. 専ら物とは専ら再生利用の目的となる産業廃棄物であり、一般廃棄物は含まれない。
- ウ. 排出事業者が産業廃棄物を自ら運搬する場合の基準として最も適当なものは次のうちどれか。
1. 運搬時に携帯する書面には、運搬する産業廃棄物を積載した日を記載する必要がある。
 2. 車両の表示は、車両の両側面に「産業廃棄物収集運搬車」と明示されていれば足りる。
 3. 車両の表示は、マグネットなどによる取り外し可能なものは認められない。
 4. 運搬時に携帯する書面には、産業廃棄物収集運搬業許可証の写しを添付する必要がある。
- エ.
- ・
 - ・
 - ・

第8問（各2点×10問）

次のア～コは、ある企業の産業廃棄物管理の運用に関する相談者と廃棄物担当者（以下、担当者）との対話である。相談者の質問に対する担当者の回答のうち、適切であると判断したものには「○」を、不適切であると判断したものには「×」を解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア. 相談者：特別管理産業廃棄物を保管することになったのですが、保管場所について特に注意すべき点はありますか？

担当者：特別管理産業廃棄物は、人の健康や環境への被害を生じるおそれがある廃棄物ですので、その保管は施錠できる屋内で行わなければなりません。

イ. 相談者：産業廃棄物処理業者の許可証の許可番号で処理業者の情報を検索しようと思うのですが、許可番号はすべての自治体で同じものですか？

担当者：いいえ、許可番号は同じではありません。ただし、許可番号の下6桁は固有番号といい、この固有番号は、同一法人の処理業者であればすべての自治体で同一の番号が割り振られています。ですので、検索には固有番号を利用するとよいでしょう。

ウ. 相談者：契約期間が終了した産業廃棄物処理委託契約書を電子データとして保存したい場合は、どのようにすればよいですか？

担当者：その契約書を全てスキャナで読み取り、PDF形式の電子データとしていつでも閲覧、印刷できる状態で保存しておけば、原本を廃棄しても差し支えありません。

エ.
.
.
.

第9問 (15点)

次の文章は、ある担当者の廃棄物管理における対応について記述している。文章から読み取れる範囲で、排出事業者における廃棄物の適正管理についての廃棄物処理法上の問題点を端的に指摘し、それぞれ適切な対応を記述しなさい。

なお、廃棄物処理法上問題とならない箇所を問題点として指摘した場合は、減点対象とする。

ある事業場では、不要となった木製パレットが排出される。この木製パレットの一部は、事業場内で再使用されるものもある。

近隣に所在するグループ企業において、木製パレットを再使用するために提供して欲しいとの依頼があり、用途を変えず有用に使用されることを確認し、無償で引き渡す場合がある。その際には、廃棄物とは取り扱わず、当該グループ企業が所有する車両に積載して引取られる。また、従業員が個人の日曜大工の材料として使用する目的で、一部の木製パレットを会社の承諾を得て持ち帰る場合がある。

残った木製パレットについては、一部に廃棄物として処分するものも含まれるが、再使用される場合も多いため、「リサイクル資源保管場所」と示した掲示板のみを掲げている。

【解答欄】

【解答欄】

第9回本検定模範解答

第1問 (各1点×5問)

ア. 1	イ. 7	ウ. 9	エ. 12	オ. 15
------	------	------	-------	-------

第2問 (各1点×14問)

ア. ×	イ. ○	ウ. ×	エ. ○
------	------	------	------

第3問 (2点×2問)

ア. 2個	イ. 4個
-------	-------

第4問 (各1点×10問)

ア. 4	イ. 2	ウ. 4
------	------	------

第5問 (各2点×5問)

ア. 3

第6問 (各2点×3問)

収集運搬委託契約のみ…1 処分契約のみ…2 収集運搬と処分の契約…3 直接契約は不要…4

ア.	A社 3	B社 4
----	------	------

第7問 (各2点×8問)

ア. 1	イ. 3	ウ. 1
------	------	------

第8問 (各2点×10問)

ア. ×	イ. ○	ウ. ○
------	------	------

本検定 第9問 (15点×1問)

※解答欄の数と問題点の数が同数とは限りません。

※以下は解答の一例です。また、採点基準は非公開です。

問題点	別事業所の不要な木製パレット置場に、「リサイクル資源保管場所」と示した掲示板のみを掲げている。
対応	産業廃棄物である木製パレットも含まれるため、「産業廃棄物保管場所」と明示した掲示板を設ける必要がある。
問題点	
対応	
問題点	
対応	